指定管理者評価【令和4年度】

施設名称	地域包括ケアセンターいぶき・吉槻診療所
指定管理者	公益財団法人　地域医療振興協会

評価分類		評価項目	評価点
1	職員の配置および実施体制	仕様書および事業計画書に基づく人員配置が行われているか。	4
		業務に対する研修等の職員教育が行われているか（職員マナー等）。	4
2	施設等の維持管理	施設の美観が保たれているか（建物、外構、駐車場、植栽などの清掃等）。	4
		設備の適正な維持管理が行われているか（法定保守点検等）。	4
		備品等の適正な維持管理が行われているか（保管状況、貸出し状況）。	4
		修繕が必要な個所についての報告や適正な処置が実施されているか。	4
3	利用者サービスの向上	適切な情報発信が行われているか（ウェブサイト等の活用）。	4
		利用者へのサービス向上のための工夫が行われているか。	4
		苦情、トラブルおよび要望に対し適切、迅速な対応が行われているか。	4
4	施設の運営	施設の設置目的、仕様書および事業計画書に定められた運営が行われているか（開館・指定事業の実施等）。	4
		利用者が平等に利用できるよう適正な利用許可が行われているか（利用計画の管理、調整等）。	4
		前年度と比較し利用者実績および施設稼働率等に著しい差異はないか（増加・減少傾向の原因確認）。	4
		防犯対策が適正に実施されているか（鍵の管理・警備等）。	4
5	情報管理	業務に関する書類等は、適正に管理・保管がされているか。	4
		個人情報の保護に対する体制が整っているか。	4
6	緊急時の対応	事故防止および事故発生時の対策が行われているか（マニュアルの作成等）。	4
		災害発生時の対策が行われているか（マニュアルの作成等）。	4
		事故および災害発生を想定した訓練が行われているか（訓練の実施、マニュアルの見直し）。	4
7	自主事業	自主事業が適正に実施されているか（施設目的・利用者ニーズに沿った内容、成果等）。	4
8	地域との連携	地域の活性化や地域住民と連携する事業の展開が行われたか（地域との協働）。	4
9	経理の状況	経理区分を明確にし、適正な経理処理が実施されているか（指定管理料の執行等）。	4
		収支計画書と比較して大きな差異がないか。	4
		利用料金が適正に徴収されているか。	4
		経費節減の取組が実施されているか。	4
		指定管理者（団体の経営状況）経営状況の判断	4
合計（A）			100
評価基本点【（A）／125×100】			80

収支状況

指定管理料	15,500,000 円
収入（a）	602,610,630 円
支出（b）	591,621,961 円
収支（a－b）	10,988,669 円

総合評価	A
総合評価コメント	コロナ感染症での発熱外来の運営、ワクチン接種など多忙な業務を積極的に受け入れてこらえれた。 医師7人体制で医療サービスを提供し、午後は往診に十分応え、地域への貢献度が高い。 病児病後児保育も子育て世代の親にとって安心できるものであり、さらに医療部門と福祉部門（高齢者・障害児童）の連携も取れており、地域の安心感を生み出している。 今後については、医師の働き方改革を進めていく一方で、地域医療振興協会の理念に沿い、医療空白地となった醒井地域を地域課題として捉え、将来の地域医療の在り方について市と意見交換することを希望する。

指定管理者評価【令和4年度】

施設名称	山東診療所
指定管理者	公益社団法人　地域医療振興協会

評価分類		評価項目	評価点
1	職員の配置および実施体制	仕様書および事業計画書に基づく人員配置が行われているか。	4
		業務に対する研修等の職員教育が行われているか（職員マナー等）。	4
2	施設等の維持管理	施設の美観が保たれているか（建物、外構、駐車場、植栽などの清掃等）。	4
		設備の適正な維持管理が行われているか（法定保守点検等）。	4
		備品等の適正な維持管理が行われているか（保管状況、貸出し状況）。	4
		修繕が必要な個所についての報告や適正な処置が実施されているか。	4
3	利用者サービスの向上	適切な情報発信が行われているか（ウェブサイト等の活用）。	4
		利用者へのサービス向上のための工夫が行われているか。	4
		苦情、トラブルおよび要望に対し適切、迅速な対応が行われているか。	4
4	施設の運営	施設の設置目的、仕様書および事業計画書に定められた運営が行われているか（開館・指定事業の実施等）。	4
		利用者が平等に利用できるよう適正な利用許可が行われているか（利用計画の管理、調整等）。	4
		前年度と比較し利用者実績および施設稼働率等に著しい差異はないか（増加・減少傾向の原因確認）。	4
		防犯対策が適正に実施されているか（鍵の管理・警備等）。	4
5	情報管理	業務に関する書類等は、適正に管理・保管がされているか。	4
		個人情報の保護に対する体制が整っているか。	4
6	緊急時の対応	事故防止および事故発生時の対策が行われているか（マニュアルの作成等）。	4
		災害発生時の対策が行われているか（マニュアルの作成等）。	4
		事故および災害発生を想定した訓練が行われているか（訓練の実施、マニュアルの見直し）。	4
7	自主事業	自主事業が適正に実施されているか（施設目的・利用者ニーズに沿った内容、成果等）。	4
8	地域との連携	地域の活性化や地域住民と連携する事業の展開が行われたか（地域との協働）。	4
9	経理の状況	経理区分を明確にし、適正な経理処理が実施されているか（指定管理料の執行等）。	4
		収支計画書と比較して大きな差異がないか。	3
		利用料金が適正に徴収されているか。	4
		経費節減の取組が実施されているか。	4
		指定管理者（団体の経営状況）経営状況の判断	3
合計（A）			98
評価基本点（A）／125×100			78

収支状況

指定管理料	2,847,000 円
収入（a）	4,126,607 円
支出（b）	6,357,119 円
収支（a－b）	▲ 2,230,512 円

総合評価	B
総合評価コメント	コロナ感染症での発熱外来の運営、ワクチン接種など多忙な業務を積極的に受け入れてこらえれた。 医師7人体制で医療サービスを提供し、午後は往診に十分応え、地域への貢献度が高い。 病児病後児保育も子育て世代の親にとって安心できるものであり、さらに医療部門と福祉部門（高齢者・障害児童）の連携も取れており、地域の安心感を生み出している。 今後については、医師の働き方改革を進めていく一方で、地域医療振興協会の理念に沿い、医療空白地となった醒井地域を地域課題として捉え、将来の地域医療の在り方について市と意見交換することを希望する。

指定管理者評価【令和4年度】

施設名称	米原市地域包括医療福祉センター・米原診療所
指定管理者	公益社団法人　地域医療振興協会

評価分類		評価項目	評価点
1	職員の配置および実施体制	仕様書および事業計画書に基づく人員配置が行われているか。	4
		業務に対する研修等の職員教育が行われているか（職員マナー等）。	3
2	施設等の維持管理	施設の美観が保たれているか（建物、外構、駐車場、植栽などの清掃等）。	4
		設備の適正な維持管理が行われているか（法定保守点検等）。	4
		備品等の適正な維持管理が行われているか（保管状況、貸出し状況）。	4
		修繕が必要な個所についての報告や適正な処置が実施されているか。	4
3	利用者サービスの向上	適切な情報発信が行われているか（ウェブサイト等の活用）。	3
		利用者へのサービス向上のための工夫が行われているか。	4
		苦情、トラブルおよび要望に対し適切、迅速な対応が行われているか。	4
4	施設の運営	施設の設置目的、仕様書および事業計画書に定められた運営が行われているか（開館・指定事業の実施等）。	4
		利用者が平等に利用できるよう適正な利用許可が行われているか（利用計画の管理、調整等）。	4
		前年度と比較し利用者実績および施設稼働率等に著しい差異はないか（増加・減少傾向の原因確認）。	4
		防犯対策が適正に実施されているか（鍵の管理・警備等）。	4
5	情報管理	業務に関する書類等は、適正に管理・保管がされているか。	4
		個人情報の保護に対する体制が整っているか。	4
6	緊急時の対応	事故防止および事故発生時の対策が行われているか（マニュアルの作成等）。	4
		災害発生時の対策が行われているか（マニュアルの作成等）。	4
		事故および災害発生を想定した訓練が行われているか（訓練の実施、マニュアルの見直し）。	3
7	自主事業	自主事業が適正に実施されているか（施設目的・利用者ニーズに沿った内容、成果等）。	4
8	地域との連携	地域の活性化や地域住民と連携する事業の展開が行われたか（地域との協働）。	3
9	経理の状況	経理区分を明確にし、適正な経理処理が実施されているか（指定管理料の執行等）。	4
		収支計画書と比較して大きな差異がないか。	5
		利用料金が適正に徴収されているか。	4
		経費節減の取組が実施されているか。	4
		指定管理者（団体の経営状況）経営状況の判断	5
合計（A）			98
評価基本点（A）／125×100			78

収支状況

指定管理料	66,370,000 円
収入（a）	695,830,276 円
支出（b）	612,781,795 円
収支（a－b）	83,048,481 円

総合評価	B
総合評価コメント	コロナ感染症での発熱外来の運営、ワクチン接種など多忙な業務を積極的に受け入れてこらえれた。 医師7人体制で医療サービスを提供し、午後は往診に十分応え、地域への貢献度が高い。 病児病後児保育も子育て世代の親にとって安心できるものであり、さらに医療部門と福祉部門（高齢者・障害児童）の連携も取れており、地域の安心感を生み出している。 今後については、医師の働き方改革を進めていく一方で、地域医療振興協会の理念に沿い、医療空白地となった醒井地域を地域課題として捉え、将来の地域医療の在り方について市と意見交換することを希望する。